

第21回(2018年度)

七十七
ビジネス
大賞

セルコホーム株式会社



代表取締役
新本 恭雄 氏

●企業の概要

企業名：セルコホーム株式会社
代表者：代表取締役 新本 恭雄
住所：宮城県仙台市青葉区上杉2丁目1番14号
設立年：1959年
業種：建設業
資本金：100百万円
従業員数：261名

●事業の概要

1959年創業の住宅メーカー。創業以来建売住宅やマンション建設で成長。気密性・断熱性・耐震性などの住宅性能に優れたカナダ輸入住宅の供給に取り組み、全国でフランチャイズを展開。東日本大震災後は復興事業として仮設住宅の建設などに尽力。



本社



仙台支店(住宅建築の技術を活かした大規模木造建築)

宮城をはじめ全国へ気密性・断熱性に優れたカナダ輸入住宅を提供、県内を代表する住宅メーカー

〈カナディアンツーバイの仕組み〉

枠組め工法＝ツーバイフォー工法
ツーバイフォー工法の仕組みは、床・壁・屋根（天井）がはじめから面としてつくられ、その面で壁（内装材）を作るように施工がとづくのが特徴です。



2×10材を使用した床骨土

断熱材として、高性能グラスウール32K、
敷居を採用。2階天井・壁・床にそれぞれ
220mm・140mm・220mmという厚さで高
密度に使用。 ※2×6only



当社施工のカナダ輸入住宅「THE HOME」



賑わいのゆりあげ港朝市「メイプル館」

●受賞の理由

「全ての人の心地よい暮らしをご提供したい」という方針のもと、冬の極寒から夏の猛暑まで日本よりも気候条件が厳しいカナダで発達した住宅技術に着目、構造を面（壁パネル）で支える、高い気密性と断熱性を持つ「2×4工法」の技術を活かし、湿度が高い日本の気候風土に合わせて改良した「カナディアンツーバイ」を開発した。「2×4工法」をベースに、外壁に“2×6”、床や天井に“2×10”といった強度の高い構造材を採用し耐震性を更に高め、東日本大震災において当社の住宅は全倒壊・半壊ゼロと、その強度・耐震性は極めて優れている。また壁や天井には吸音性にも優れた断熱材を使用、高い遮音性ととも、優れた断熱性により夏は涼しく冬は暖かい省エネルギー住宅を実現。優れた住宅機能とともに、欧米の伝統様式を基本にした多彩なデザインも顧客から支持されている。

当社の事業拠点は宮城県を中心に18カ所、それに加え全国64社とフランチャイズ契約を結んでおり、全国規模で「セルコホーム」ブランドの住宅を供給。カナダ輸入住宅供給において全国トップの実績を誇り、現在までに当社が供給したカナダ輸入住宅は17,000棟を超える。長年にわたり県内をはじめ全国に優良住宅を提供し、人々の生活の基盤を支えてきた功績は大きい。

東日本大震災後には、「震災復興応援住宅」として「耐震等級」「省エネ対策等級」など長期優良住宅性能表示の基準をクリアした住宅を低価格で提供したほか、仮設住宅を被災地8カ所において255戸を施工、名取市閑上の「ゆりあげ港朝市」の再建事業にも携わるなど、震災復旧・復興にも大きく貢献した。

当社は創業から60年目を迎え、カナダ輸入住宅のリーディングカンパニーとして、住宅建築業界および県内経済に貢献してきた実績は大きい。県内を代表する住宅メーカーとして今後更なる発展が期待される企業である。